

ND-BFC200

バック設置用 取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

お客様へ

購入後はじめて本機を使うときは、初期設定が必要です。初期設定を行ってからご使用ください。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

電話：☎0120-944-1111【一般電話】044-572-8101FAX：044-572-8103

<ご注意>

- 「0120」で始まる☎フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
- 修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2011

< KYTZX > < 11C00000 > < CYR1029-A >

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

 このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別紙の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

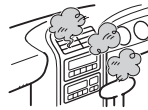
〔異常時の処置〕

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告

〔取り付け〕

はがれないようにしっかり取り付ける



取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

〔使用方法〕

後方確認は目視で行う



- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近くは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。

走行前には点検する



- カメラスタンドの取付状態を走行前に点検してください。
 - ネジがゆるんでいないか
 - カメラスタンドがはがれかけていないか
- 走行中にカメラがはがれると事故の原因になります。

操作時はブレーキを必ず踏む



バックギアに入れ本機を操作するときは、必ずブレーキを踏んで停止した状態で操作してください。

注意

〔使用方法〕

カメラのケーブルに傷をつけない



傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、故障の原因となります。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

●使用上のご注意

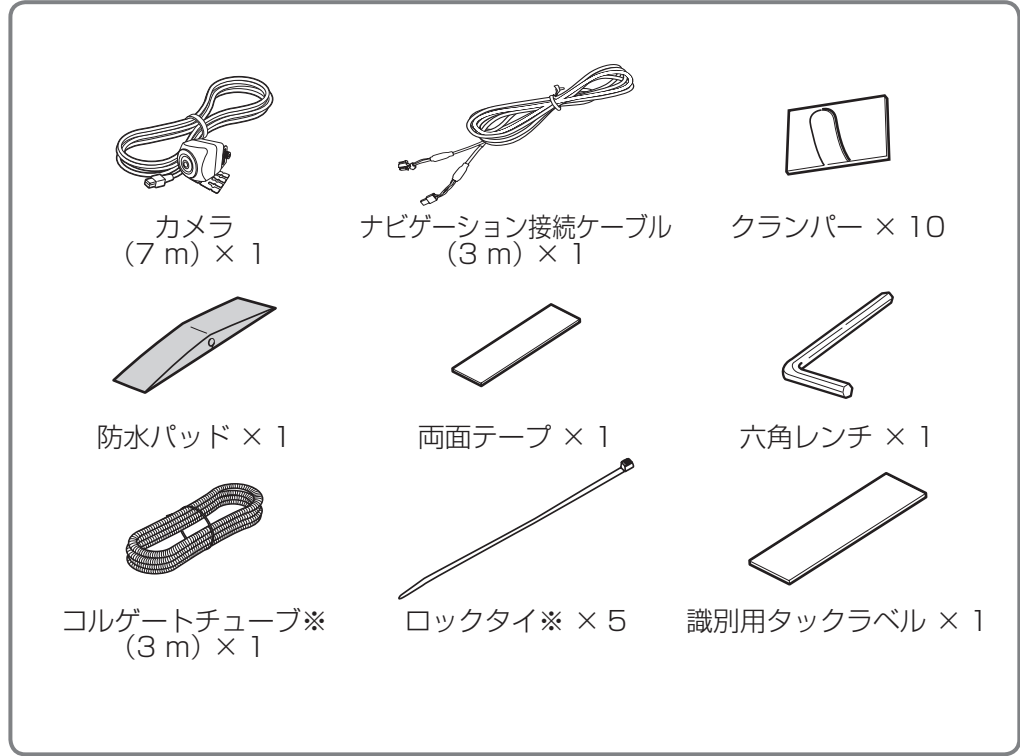
- 自動洗車機または、高圧力の水で洗車を行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合はライターなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を後方確認用として使用する場合は鏡像タイプです。
鏡像タイプとは、バックミラーやサイドミラーと同様に左右対称に映すカメラです。
- 太陽光を直接映したり、強い光（太陽光のパンパーからの反射等）が入射した場合、映り方が変わることがありますが故障ではありません。
- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映しだせるものではありません。バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しております。広角レンズの特性上、近くは広く、遠くは狭く映りますが、その特性を歪み補正により最小限に抑え、自然に表示されます。ただし、画面端など歪み補正が難しい部分もあります。その部分については実際の距離感と異なりますので、バックする際は必ず目視で後方の確認をしてください。
- 本製品の設定内容は 1 つのみ記憶されます。したがって、以下の場合は必ず設定値を変更してからご使用ください。
 - ・ 車の買い換えなどで、他の車へ付け替えるとき
 - ・ 取り付け位置を変更したとき
- 本製品を過信せずに注意して運転してください。

●仕様

共通部	
使用電源	DC8.0 V (5.7 V ~ 8.5 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	約 150 mA
出力映像	鏡像 (後方確認用) / 正像 (前方確認用)
映像出力	NTSC 方式準拠 1 Vp-p (75 Ω)
外形寸法	
カメラユニット	23 (W) mm × 23 (H) mm × 24 (D) mm
質量	
カメラ部	150 g (ケーブル含む)
ケーブル長	カメラ本体ケーブル 7m ナビゲーション接続ケーブル 3m
カメラ部	
撮像素子	カラー CMOS センサー 1/4 インチ
画素数	有効画素数 約 31 万画素
レンズ	広角 焦点距離 f=0.82 mm F 値 2.6
画角	水平: 約 190° 垂直: 約 158°
IR カット (車載用特殊フィルター)	有り
アイリス方式	電子アイリス
走査方式	インターレース
同期方式	内部同期
S/N	40 dB 以上 (推奨照度にて)
水平解像度	約 300 TV本
照度範囲	約 0.9 lx ~ 10 万 lx
動作温度範囲	- 30℃ ~ +70℃
保存温度範囲	- 40℃ ~ +85℃
付属品	
カメラユニット (ケーブル長 7 m)、ナビゲーション接続ケーブル (3 m)、クランプ、防水パッド、両面テープ、六角レンチ、コルゲートチューブ (3 m)、ロックタイ、識別用タックラベル、取扱説明書、安全上のご注意、保証書、修理窓口・ご相談窓口のご案内	

● 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

● 接続・取り付け部品を確認する

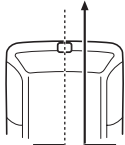


● ※はフロント設置用として接続する場合に使用します。バック設置用として接続する場合は使用しません。

● 取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上での注意

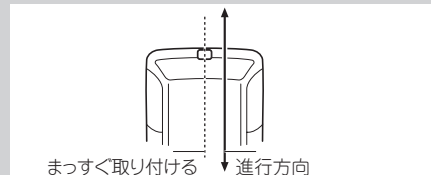
- カメラは確実に取り付け、固定してください。確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。
- カメラを取り付けたい位置に合わせます。カメラの角度を調整して、カメラが車両に当たらない位置に取り付けてください。
- ガラス面に取り付ける場合は、リアワイパーがカメラに当たらない位置に取り付けてください。
- 後方の視界を妨げない位置に取り付けてください。
- 車幅からはみださない位置に取り付けてください。
- 車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。



まっすぐ取り付け 進行方向

- 地面から 0.5 m より上に取り付けてください。取り付け位置が地面から 0.5 m より低いと映像補正が行えず、カメラ映像が歪むことがあります。また、0.5 m より低いと駐車場白線が見えなくなることがあります。
- カメラは車の中央付近に取り付けてください。
- カメラを中央付近に取り付けられない場合でも、初期設定によりカメラ映像の位置や角度を調整することができます（詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」）。ただし、車両の端など中央から離れた位置では正しく調整が行えない場合があります。
- 取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。

- ガラス面に取り付けるときは、取り付ける面の湿気、ホコリ、汚れ、油などを取り除き、乾いたあとにきれいな布でふき取ってください。湿気・油などがあると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 気温が低いときにガラス面に取り付けるときは、接着力の低下を防ぐため、粘着テープの接着面と取り付け面を、車内ヒーターやリアデフォッガースイッチを ON にして暖めておいてください。（20℃以上）
- 粘着テープの接着面は指で触れたり、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- カメラスタンドをフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに貼り付けしないでください。カメラが落下する恐れがあります。
- 取り付け後、24 時間以内は絶対に水気（水、雨、霧、雪など）に当たらないでください。また、カメラに無理な力が加わるようなことはしないでください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に	粘着テープを貼り付ける前に

粘着テープを貼り付ける前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- テープを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。

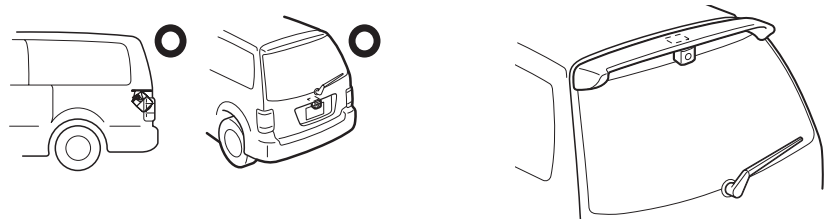
取り付け例

⚠️ ご注意

- 本製品のカメラ前面部は「道路運送車両の保安基準第18条第1項第2号」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは、図のように取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。

カメラの正しい取り付け例

- カメラ後部を必ず車両に隠れるように取り付けてください。

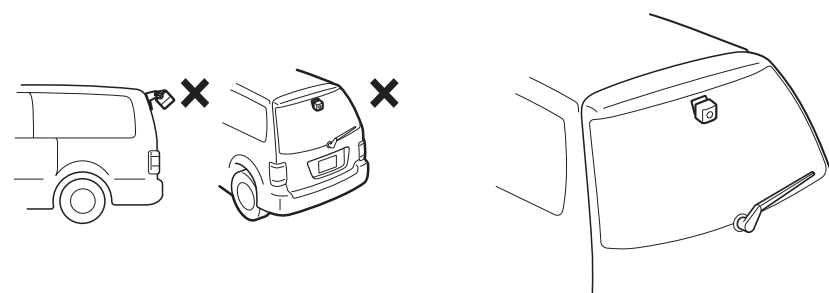


カメラ後部(破線部分)を必ず隠れるよう取り付けてください。



カメラの誤った取り付け例

- カメラ後部を車両に隠れない取り付けをしないでください。



メモ

- カメラは車の中央付近に取り付けてください。
- カメラを中央付近に取り付けられない場合でも、初期設定によりカメラ映像の位置や角度を調整することができます（詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」）。ただし、車両の端など中央から離れた位置では正しく調整が行えない場合があります。

カメラの取り付け

取り付け場所に合わせたカメラスタンドの金具の取り付け

車の形状や取り付け位置に合わせて変更してください。

1 カメラを取り付ける面の汚れをふきとる

取り付け面に付着している湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとります。

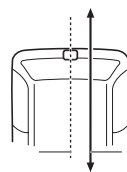
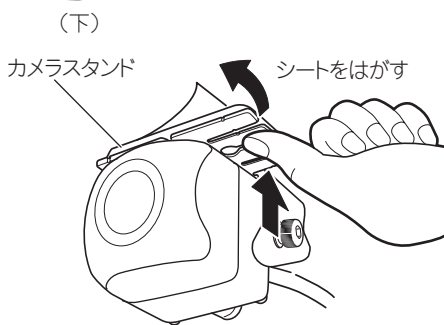
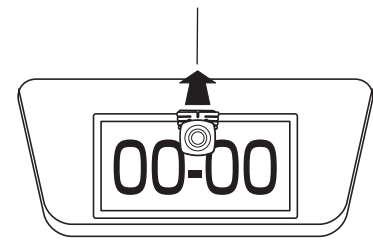


2 「carrozzeria」のロゴが上になるように貼り付ける

カメラスタンドを指で押して、貼り付け面を密着させてください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してカメラスタンドがはがれる恐れがあります。

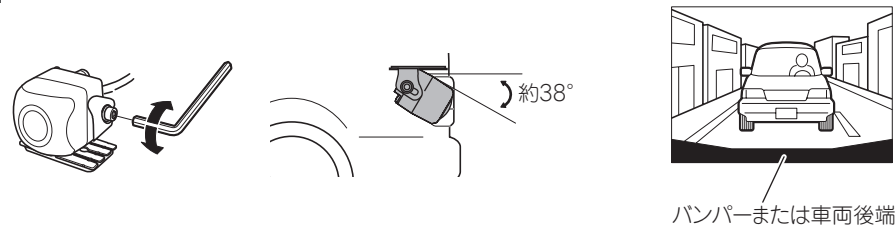


ナンバーを隠さないように貼り付けてください。また中央部分に貼り付けてください



車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。

3 バンパーまたは車両後端がテレビ画面の下のに映るように、角度を調整する



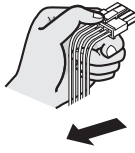
メモ

- バンパーまたは車両後端がテレビ画面の下のに映らない場合でも、初期設定によりカメラ映像の位置や角度を調整することができます。詳しくは「はじめてお使いになるときに設定をする」を参照してください。

接続する

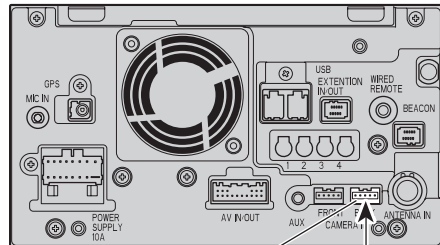
コネクターの着脱のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの上下の向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続図

ナビゲーション本体
例：「AVIC-ZH09」



バックカメラ用
接続端子（黒）

識別用タックラベル
「バック」と書いてケーブルに
貼ってください。

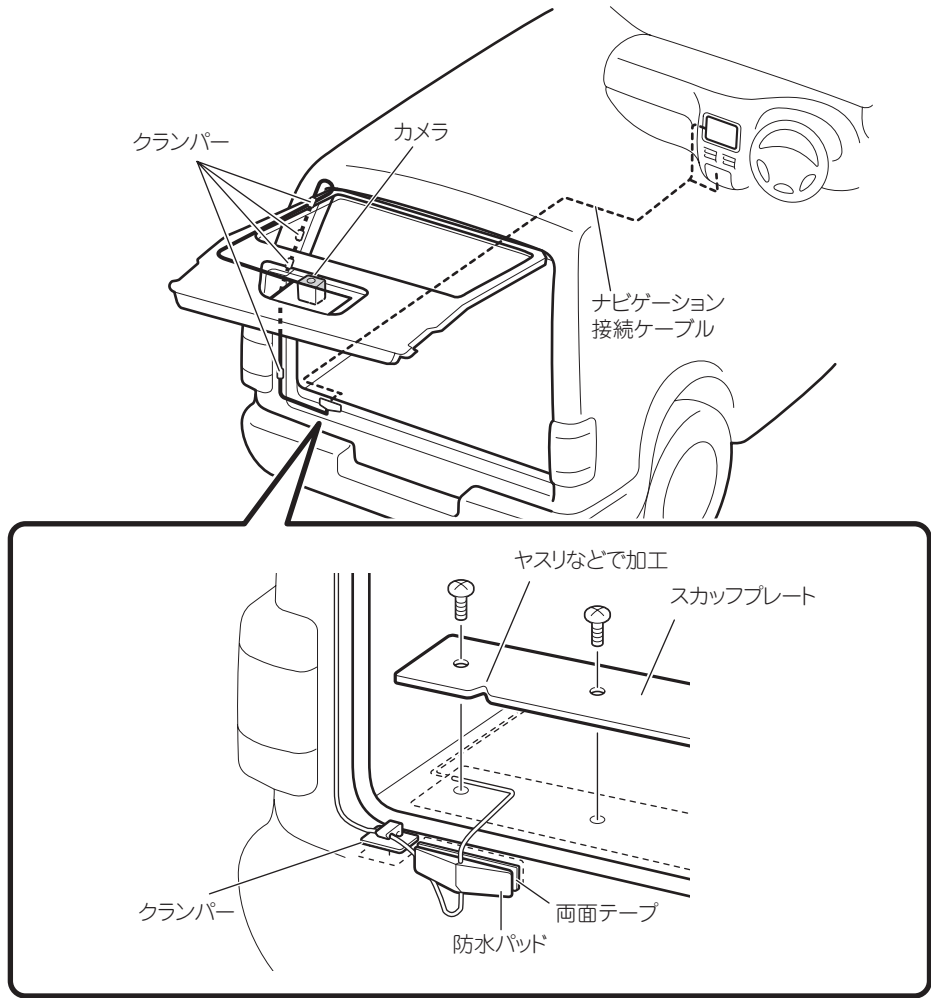
バック
ナビゲーション
接続ケーブル

バック／フロントカメラユニット

7 m

- 注：カメラ接続ケーブルに他の機器のリード線を接続しないでください。
- 注：必ずバックカメラ用接続端子（黒）に接続してください。隣にある白い端子はフロントカメラ用接続端子です。間違って接続しないようご注意ください。
- 注：フロントとバックの両方にカメラを取り付ける場合、どちらのカメラ用のコネクタかわからなくなる可能性があります。バック設置用として取り付ける場合は識別用タックラベルに「バック」と書いてケーブルに貼ってください。

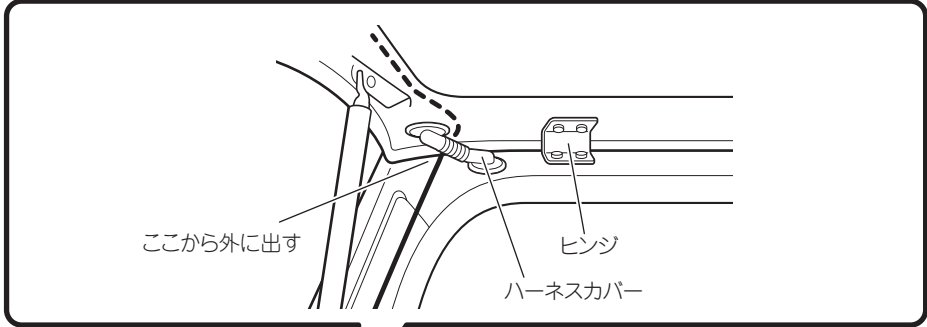
カメラのコードを処理する



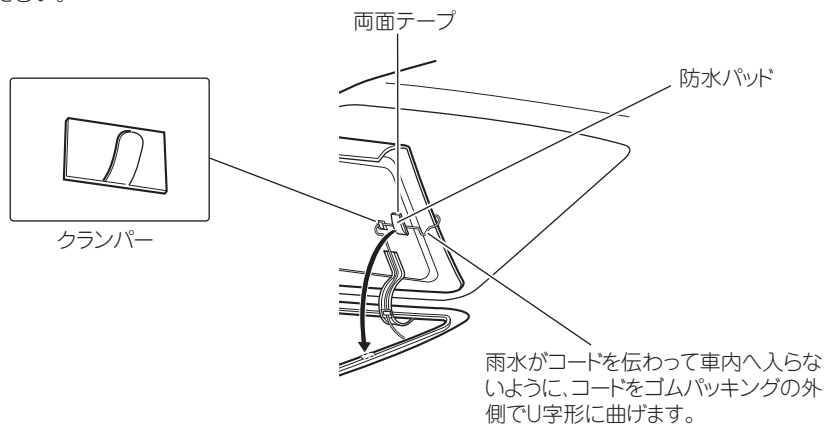
注：AM ラジオに雑音が入る場合は、車両のアンテナからカメラのコードを離してください。
注：クランパーを取り付ける部分は、湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとってください。
注：カメラのコードは、テレビアンテナのケーブルから離してください。
注：クランパーを車両の外側につける場合は、ケーブルをはさむ部分をしっかり押して、突出量を 5 mm未満にしてください。

コード処理のポイント

- コードを車外に引き出すときは、バックドアのハーネスカバーとヒンジの外側を引き回してください。



- 車種によってカメラのコードを下側から車内へ引き込めない場合
図のように防水パッドの手前でコードをU字に曲げ、雨水などがコードを伝って車内に入らないようにしてください。



カメラの設定について

設定の前に

- 設定するときは、必ずエンジンをかけて行ってください。
- 設定の途中でエンジンを切ると設定が記憶されません。設定が終了するまでエンジンを切らないでください。
- 初期設定する場合は、自車幅の位置がわかる白線のある駐車場で行ってください。
- 設定中の事故を防ぐため、車を完全に停車できるタイヤ止めのある駐車場で設定を行ってください。
- 設定は撮影したカメラ映像の写真をもとに行います。実際の後方の状況とは異なります。
- 本機の操作はナビゲーションのタッチパネル操作で行います。ナビゲーションとカメラが接続されていないとカメラの設定をすることはできません。
- カメラを正常に動作させるためには、バック信号入力線の接続が必要です。

バックカメラ切換極性について

車両によってシフトレバーをバックに切り換えたときのバック信号表示が【LOW】と【HIGH】で異なります。シフトレバーをバックに切り換えたときのバック信号表示の確認が必要です。詳しくはナビゲーションの取付説明書をご確認ください。

【LOW】	シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が【LOW】になる車両の場合はこちらを選びます。
【HIGH】	シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が【HIGH】になる車両の場合はこちらを選びます。

メモ

- 車種によっては、カメラを装着してエンジンをかけると、シフトレバーをバックに切り換えなくてもカメラの画像が表示されることがあります。その場合は、【NAVI】を押してカメラの映像を解除し、バックカメラ切換極性で【LOW】を選んでください。

- 1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す
- 2 【設定・編集】-【システム設定】-【カメラ設定】にタッチする
- 3 【バックカメラ】-【バックカメラ切換極性】にタッチする
- 4 【LOW】または【HIGH】にタッチする



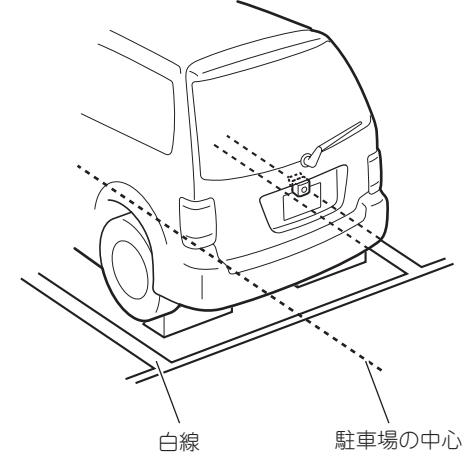
- 5 【終了】にタッチする

設定に入る前の準備

本機の設定に入る前に、写真の撮影を行う場所へ車を移動させます。写真の撮影は車のタイヤ止めのある安全な場所で行います。撮影した写真をもとに設定を開始します。

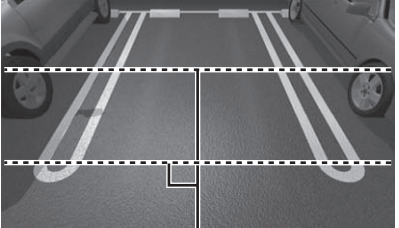
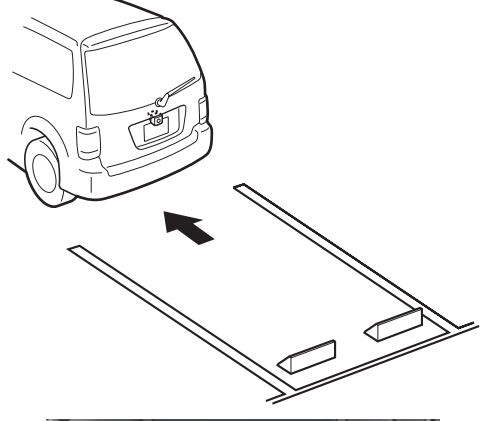
1 車を止める

白線のある駐車場の中央に止めてください。



2 車を前に出す

車を止めた場所から写真を撮影する場所まで車を前進させます。



上記写真を目安に、点線に白線が掛かる位置で撮影を行ってください。

注：設定は白線とタイヤ止めのある駐車場で行ってください。
白線の中央から車の位置がずれてしまうと正しく設定できません。

はじめてお使いになるときに設定をする

本機をお使いになるときは必ず初期設定が必要です。初期設定を行わないと本機を使用することができません。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【バックカメラ】にタッチする



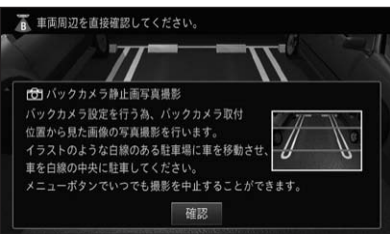
6 【バックカメラ調整】にタッチする



注：バックカメラ入力が「ON」になっていることを確認してください。「OFF」になっている場合はカメラの接続を確認してください。

7 写真を撮影する

設定に使用する写真を撮影します。「写真の撮影をする」を参照し、撮影してください。



8 カメラ取付位置の高さを設定する

撮影した写真をもとに「カメラの取付位置を設定する」を参照し、カメラ取付位置を設定してください。



メモ

- 基本的な調整はこれで終了です。より詳細な調整をする場合は、「詳細な設定をする」の手順8に進みます。

9 【終了】にタッチする

初期設定が終了し、設定内容が記憶されます。



メモ

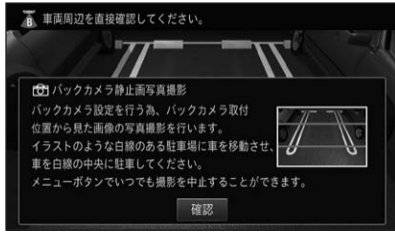
- 設定が終了すると写真データは削除されます。

注：自車幅線及び距離目安線は、あくまで目安です。必ず車両周辺を直接確認してください。
注：取付位置を選択した後に、カスタム調整を行った場合はそれ以前に設定したカスタムの値が上書きされます。

写真の撮影をする

設定を行う手順で設定に使用する写真を撮影します。

1 【確認】にタッチする



表示されたメッセージが消えます。

2 【撮影を行う】にタッチする



3 【設定画面へ進む】にタッチする



注：写真を取り直す場合は【撮影をやり直す】にタッチする。

4 車をタイヤ止めのある安全な場所に移動し、【確認】にタッチする

写真を撮影した場所からタイヤ止めのある場所まで移動させます。

注：エンジンは切らないでください。エンジンを切ると写真データが消えます。



5 【確認】にタッチする



「はじめてお使いになるときに設定をする」から進んできた場合：「はじめてお使いになるときに設定をする」の手順8に進みます。
「詳細な設定をする」から進んできた場合：「詳細な設定をする」の手順8に進みます。

カメラの取付位置を設定する

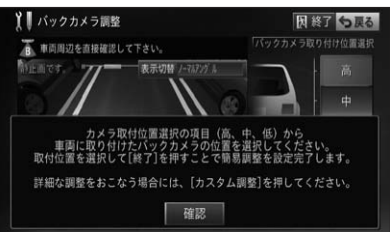
カメラの取付位置に応じて【高】、【中】、【低】から高さを選択します。

カメラの取り付け位置に近い高さを選択する（バックカメラ取付位置）

1 【カメラ取付位置選択へ進む】にタッチする



2 【確認】にタッチする



表示されたメッセージが消えます。

3 【高】、【中】、【低】、のいずれかにタッチする



タッチするとイメージが表示されます。取り付け位置の目安は以下をご確認ください。

【高】	ミニバン等の高さがある車両のハイマウントストップランプ付近につけた高さです。
【中】	ナンバープレートがバンパーより上にある車両のナンバープレート付近につけた高さです。
【低】	ナンバープレートがバンパーより下にある車両のナンバープレート付近につけた高さです。

「はじめてお使いになるときに設定をする」から進んできた場合：「はじめてお使いになるときに設定をする」の手順9に進みます。
「詳細な設定をする」から進んできた場合：「詳細な設定をする」の手順8に戻ります。

メモ

- 【表示切替】にタッチするとノーマルアングル画面とハイアングル画面が交互に切り換わります。表示される画面については「画面表示について」を参照してください。

注：ノーマルアングル画面では、ガイド線を目安に選択してください。ハイアングル画面では、駐車場の白線の大きさを目安に選択してください。

注：【カスタム】はカスタム調整を行わないと選択できません。選択する場合は「詳細な設定をする」を参照し、設定を行ってください。

詳細な設定をする

「はじめてお使いになるときに設定をする」で設定した内容を変更することができます。
また「視点アングル」や「自車幅線アングル」など、その他の設定ができます。
「設定に入る前の準備」を参照し、写真撮影をする場所に車を止めてから設定を開始します。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【バックカメラ】にタッチする



6 【バックカメラ調整】にタッチする



注：バックカメラ入力が「ON」になっていることを確認してください。「OFF」になっている場合はカメラの接続を確認してください。

7 写真を撮影する

設定に使用する写真を撮影します。「写真の撮影をする」を参照し、撮影してください。

- メモ
- 写真撮影が終了している場合は「バックカメラ調整」画面が表示されます。

8 【カスタム調整】にタッチする



- メモ
- 「詳細な設定をする」の手順7で写真を撮影した場合は「カメラの取付位置を設定する」を参照し、設定されているカメラ取付位置の高さを確認してください。

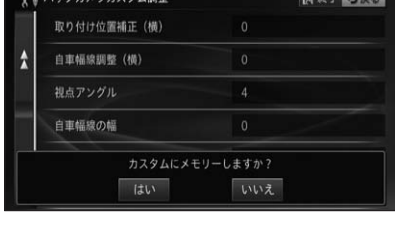
9 設定したい項目にタッチする

撮影した写真をもとに「カスタム調整をする」を参照し、設定してください。



10 【終了】または【戻る】にタッチする

11 【はい】にタッチする



設定内容が記憶されます。

- メモ
- 【いいえ】にタッチすると設定が保存されずに「バックカメラ調整」画面に戻ります。

注：【はい】にタッチしないとカスタム調整で変更した内容が登録されません。登録する場合は必ず【はい】にタッチしてください。
注：カスタム調整が終了すると取付位置の高さ設定が【カスタム】に変更されます。

12 【終了】にタッチする

設定が終了し、ナビゲーション画面に戻ります。

- メモ
- 設定が終了すると写真データは削除されます。

カスタム調整をする

お好みに合わせてカメラの設定ができます。

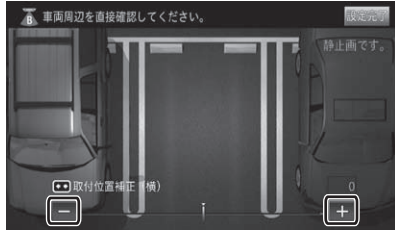
① 位置を補正する（取付位置補正（横））

カメラ取り付け位置から見たカメラ映像が中心になるように横を調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の＋または－にタッチして、横の位置を調整する

駐車場所の中央がカメラ画面の横方向の中心に表示されるように調整します。



3 【設定完了】にタッチする

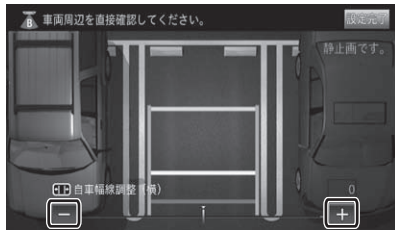
必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

② 自車幅線の横の表示位置を調整する（自車幅線調整（横））

自車幅線を実際の白線等にあわせて表示されるように調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の＋または－にタッチして、位置を調整する



3 【設定完了】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

③ 真上から見た視点の調整をする（視点アングル）

真上から見た視点（ハイアングルモード）の角度を調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の＋または－にタッチして、角度を調整する

駐車場の白線が垂直線に沿うように表示されるように角度を調整します。



3 【設定完了】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

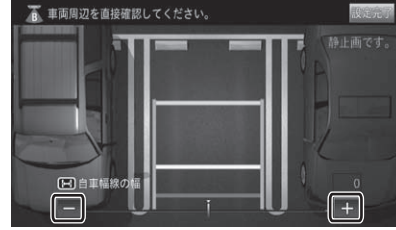
④ 自車幅の目安線を調整する（自車幅線の幅）

自車幅線の幅を調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の＋または－にタッチして、角度を調整する

画面の＋または－にタッチして、位置を調整する
駐車場の白線を目安に位置を調整します。



3 【設定完了】 - 【確認】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

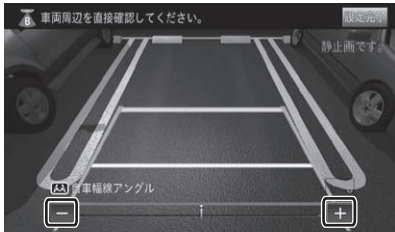
カスタム調整をする

⑤ 自車幅線の傾きを調整する （自車幅線アングル）

視界後方側で車幅とずれが大きくなる場合に、自車幅のハの字の傾きを調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の+または-にタッチして、 角度を調整する



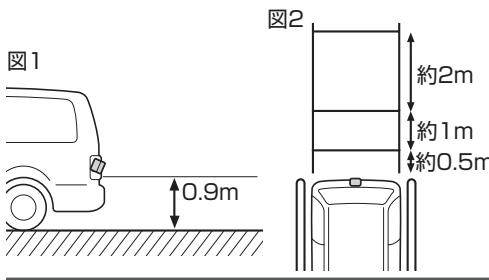
3 【設定完了】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

- **メモ**
- 自車幅線アングルは、「自車幅線の幅」の調整により変動します。

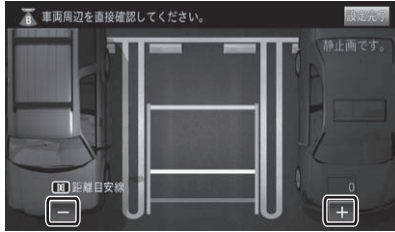
⑥ 距離目安線を調整する （距離目安線）

初期設定は図1の位置で取り付けけた場合、図2の間隔で距離目安線を表示します。



1 【確認】にタッチする

2 画面の+または-にタッチして、 間隔を調整する



● **メモ**

- 距離目安線とは、駐車時に参考となる3本の目安線のことです（緑線、黄線、赤線）。
- 「視点アングル」を工場出荷時の状態から調整した場合、図2に記載されている距離間隔（約0.5m、約1m、約2m）が変動します。

3 【設定完了】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

⑦ 自車幅線と距離目安線の傾きを調整する （自車幅線回転）

カメラ取り付け位置から見た自車幅線と距離目安線を回転させて調整します。

1 【確認】にタッチする

2 画面の+または-にタッチして、 角度を調整する



3 【設定完了】にタッチする

必ず「詳細な設定をする」の手順9に戻り作業を進めてください。

線の表示 / 非表示を切り換える

距離目安線と自車幅線（駐車アシスト線）の表示を ON/OFF できます。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】 ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【バックカメラ】にタッチする



6 【駐車アシスト線表示】にタッチする



7 【ON】 または 【OFF】 にタッチする



【ON】	駐車アシスト線を表示する。
【OFF】	駐車アシスト線を表示しない。

8 【終了】にタッチする

映像表示モードを切り換える

カメラ映像表示を切り換えることができます。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】 ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【バックカメラ】にタッチする



6 【表示モード設定】にタッチする



7 【ノーマルアングルモード】または【ハイアングルモード】にタッチする



モードの種類については「画面表示について」を参照してください。

8 【終了】にタッチする

映像画質を調整する

カメラ映像の明るさや色の濃さを調整することができます。
詳しくはナビゲーションの取扱説明書をご確認ください。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【バックカメラ】にタッチする



6 【バックカメラ画質調整】にタッチする

【バックカメラ画質調整】をタッチすると、以下の設定項目が表示されます。

【黒の濃さ】	☐ （白）にタッチすると薄くなり、 ☒ （黒）にタッチすると濃くなります。
【コントラスト】	【低】にタッチすると白黒の差が小さくなり、【高】にタッチすると白黒の差が大きくなります。
【明るさ】	【暗】にタッチすると暗くなり、【明】にタッチすると明るくなります。
【色温度】	☒ （赤）にタッチすると暖色系が強くなり、 ☒ （青）にタッチすると寒色系が強くなります。
【色の濃さ】	【淡】にタッチすると淡くなり、【濃】にタッチすると濃くなります。
【色合い】	☒ （赤）にタッチすると赤が強くなり、 ☒ （緑）にタッチすると緑が強くなります。

7 【戻る】 - 【終了】にタッチする

カメラ設定を初期状態に戻す

バックカメラの設定を初期化する（工場出荷時の状態に戻す）ことができます。

次のようなときは設定の初期化を行ってください。

- カメラの位置を変更したとき
- 使用する車を変更したとき

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



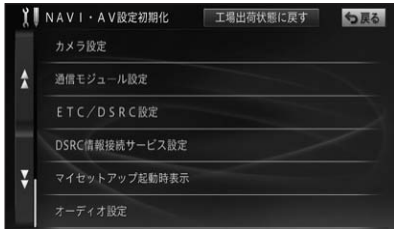
3 【システム設定】にタッチする



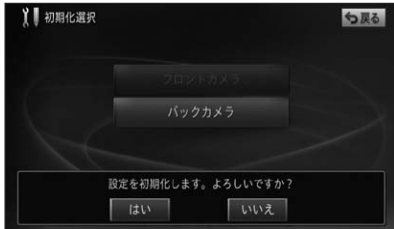
4 【NAVI・AV 設定初期化】にタッチする



5 【カメラ設定】にタッチする



6 【バックカメラ】 - 【はい】にタッチする



すべての設定内容が初期化され工場出荷時の状態に戻ります。

注：初期化をやめる場合は、【いいえ】にタッチします。

画面表示について

本機は2種類の画面を表示することができます。
表示されている画面をタッチすると、表示モードが切り換わります。

画面をタッチすることにより、以下のように切り換わります。

ノーマルアングルモード

後方を見た視点のカメラ映像です。
水平約170° 垂直約115°で映像処理をしています。



ハイアングルモード

真上から見た視点のカメラ映像です。



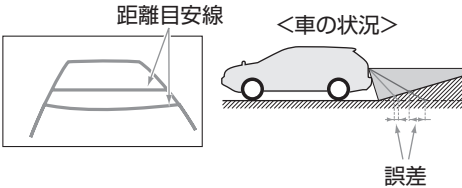
ノーマルアングルモードに戻る

付録

画面と実際の路面との誤差

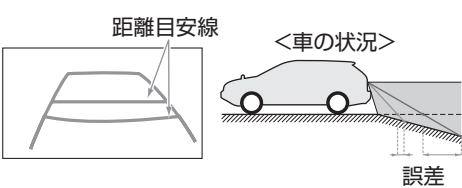
以下の状態のときは、画面の距離目安線と実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき



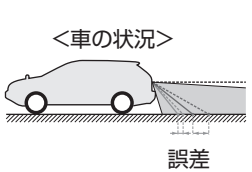
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合は、実際より遠くに見えるように見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりも後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くに見えるように見えます。同様に距離目安線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路に誤差が生じます。